

三勲小だより

令和元年6月27日(木)



<平和学習－6月29日の岡山空襲の日を前に>

1945年(昭和20年)6月29日、岡山市は大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人の方が亡くなりました。三勲学区も大きな被害を受け、たいへんな思いをされた方が多くいらっしゃいます。豊かな暮らしが当たり前ようになってきている今、子どもたちが戦争について勉強することはたいへん重要であり必要なことだと考え、三勲小学校では昨年度より「総合的な学習の時間」の中で平和学習に取り組んでいます。

今年度も、岡山空襲を体験された地域の方6人に学校にお越しいただき、戦争中の生活や74年前の6月29日の空襲のことなどについて、6年生にお話をさせていただきました。食べるものがなくて、少しのものを家族で分け合っただけで食べたこと、ザーッという音とともに焼夷弾が降ってくる中を必死で逃げたこと、みるみるうちに町が火の海になっていったことなどを子どもたちはたいへん真剣な表情で聞き、いろいろな質問をしたり、「戦争は絶対にしたらいいけん。」という言葉にうなずいたりしていました。



6月29日の岡山空襲の日には岡山市民会館で岡山市主催の「戦没者追悼式」が行われます。参加は遺族会の方々が中心ですが、小中学校も申し込みれば参加できるようになっており、三勲小学校は6年生が参加申し込みをしました。今年の小学校の参加は市内で2校だそうです。式の中では児童全員がお亡くなりになった方への献花をしたり、代表の児童がステージで平和都市宣言を朗読したりします。

また、5年生は、6月27日に、平和についての出前講座を行っておられる「むらさき花だいこんの会」の方に来ていただいて、岡山空襲や当時の生活などについての紙芝居を見せていただきました。

このような学習を通じて、子どもたちは、戦争の悲惨さとともに、平和な世界をつくっていくことの大切さを深く心に刻むことだと思います。これからもずっと、自分にできることは何かを考え続けていってこれればと思っています。

「岡山シティミュージアム」では、5月31日(金)から6月30日(日)まで、「第42回岡山戦災の記録と写真展」が開催されています。入場は無料です。今年には空襲のことに加えて、岡山の復興のために働いた多くの方々のごことも紹介されています。時間がありましたら是非お子さんと一緒に行ってみてください。